

平成29年度各部の重点取組の取組結果

部(局)名	行政経営部
部(局)長名	稲田 勲
理事名	川本 義一（総合計画担当）
理事名	中川 明仁（公共施設最適化担当）

【基本姿勢】

本市の人口は、近年では転入超過に伴う社会増により増加傾向にありますが、長期的には少子高齢化に伴う自然減により減少に転じることになります。

こうした少子高齢化と人口減少は、市税収入の減少や、社会保障関係経費の増加をもたらすなど、財政面で影響を与えますが、将来の収支見通しのもと、今後の社会状況の変化に備えた対応が必要となります。

また、昭和30～50年代に整備を進めた公共施設が老朽化し、更新の時期を迎えますが、今後の人口動向を踏まえた、質と量の両面での施設の最適化が必要となります。

本市がこれから直面することになる新たな諸課題にも対応できるよう、効果的・効率的な予算配分、公共施設の最適化、ICT環境の整備など、行政活動の資源配分をPDCAサイクルの下で適切に行いながら、健全な財政基盤の確立と、将来への必要な投資の両立を図り、持続可能な市政運営に努めます。

【達成度について】

A：達成（設定した目標を達成することができた。）

B：一部達成（設定した目標の一部のみ達成することができた。）

C：未達成（目標達成に向け取り組んだものの、目標達成には至らなかった。）

【重点課題】

	重点課題	平成29年度 達成状況
1	PDCAサイクルの着実な推進	A
2	中核市移行についての検討	A
3	吹田市第4次総合計画の策定	B
4	公共施設最適化の推進	A
5	学校・園施設整備の推進	A
6	第3期情報化推進計画アクションプランの推進	A

部(局)名	行政経営部
-------	-------

重点課題 1	PDCAサイクルの着実な推進
--------	----------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	PDCAサイクル【計画(Plan)-実施(Do)-評価(Check)-改善(Action)】を着実に推進し、財政規律を確保しながら、市の魅力や特長がさらに厚みを増すように市政を推進します。
---------------------	--

活動目標
実施計画、予算、行政評価の 手続の連携を強化します。
行政評価において、定量的な 指標の設定に努めます。
財政規律を具体化する客観的 な指標の検討を進めます。

具体的な取組実績
実施計画策定と予算編成については、同時に方針を掲げて共通でヒアリングを行うとともに、ヒアリングにおいて、行政評価結果との整合性等を確認するなど、実施計画、予算、行政評価の一体的な実施に努めました。
行政評価において、可能な範囲で定量的な指標を設定することができました。
第4次総合計画の基本計画策定を進める中で、財政運営の基本方針や目標の設定について検討しました。

達成目標
行政評価の有効性を高めながら、実施計画、予算の手続を通じて、施策の再構築を図り、新たな行政課題に的確に対応します。
財政規律の確保を図ります。

達成状況	達成度
行政評価の結果を踏まえた事業構築や査定を行い、選択と集中を図ることで、暮らしを支える施策を着実に進めながらも、重要な政策課題に必要な措置を講じることができました。	A 達成
他団体の状況も参考にしながら、財政運営の指標となりうる項目を整理し、各項目の健全性の目安となる水準の検討を進めました。	A 達成

総合評価・総括
企画財政室の実施計画・財政グループで実施計画策定・予算編成を一体的に取り組むことになって2年目となり、平成29年度においては実施計画策定方針と予算編成方針を同時に示し、平成28年度まで実施計画策定時と予算編成時にそれぞれ実施していた所管へのヒアリングを一体的に行うことで、更なる効率化を図りました。また、平成29年度は実施計画策定作業の開始に間に合う時期に行政評価結果を出せたことで、これまで以上に行政評価結果を意識する中で事業構築に取り組むことができ、結果を反映させながら、より効果的・効率的な実施計画策定・予算編成を行うことができました。

部(局)名	行政経営部
-------	-------

重点課題 2	中核市移行についての検討
--------	--------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	移譲を受ける中核市の事務について調査・協議を重ね、市民の理解を得ながら、中核市移行を目指して検討を進めます。
---------------------	--

活動目標
移譲を受ける中核市の事務について、大阪府の協力を得ながら、庁内関係部署と連携し詳細に検討します。
ホームページ等を活用し、中核市へ移行することの意義について広く市民に情報発信します。

具体的な取組実績
保健所業務移管検討ワーキング会議（6回）や移譲事務説明会等、保健所業務をはじめとする移譲を受ける中核市の事務について、大阪府の協力のもと詳細な検討を進めました。 併せて、中核市移行推進本部会議（2回）や検討部会も開催（19回）し、庁内関係部署との連携を図りました。
中核市移行に関する調査特別委員会に資料を提出し、説明を行うとともに、市民に対しては主にホームページを活用した情報発信を行いました。

達成目標
移譲を受ける中核市の事務について、具体的な内容の把握と課題等の整理を行います。
中核市への移行について、市民の理解を促進します。

達成状況	達成度
移譲を受ける事務の内容を把握するだけでなく、移譲を受けることによる効果や課題等について「吹田市中核市移行基本計画（素案）」としてまとめました。	A 達成
市民の理解を促進するために、市報やホームページ等を活用し、情報発信を行うとともに、市議会定例会や特別委員会において、中核市移行を目指す本市の考え方や、移行のメリット等について説明を行いました。	A 達成

総合評価・総括

平成32年4月の中核市移行を目指し、平成29年5月に中核市移行推進本部を設置し、本格的な検討体制を整えるとともに、大阪府に対し中核市移行に向けた協力要請を行うなど、市全体で中核市移行に向けた具体的な検討を進めてきました。検討結果を踏まえ、中核市移行に当たっての市の基本的な考え方、移譲を受ける事務の概要とその効果、中核市に移行する場合の財政的影響額、組織や人員の体制、今後のスケジュール等について「吹田市中核市移行基本計画（素案）」としてまとめました。

また、整理した内容については、中核市移行に関する調査特別委員会に資料として提出し、説明を行ってきました。市民に対しては、主にホームページを活用し、中核市移行に向けた市の取組状況等について情報発信を行いました。

今後は、「吹田市中核市移行基本計画（案）」についてパブリックコメントを実施し、市民の意見をお聴きするとともに、市民説明会や出前講座等を通じて、丁寧な説明を行ってまいります。

部(局)名	行政経営部
-------	-------

重点課題 3	吹田市第4次総合計画の策定
--------	---------------

全体の達成度
B
一部達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	吹田市第4次総合計画を策定し、本市がめざすべき将来像の実現に向けた取組を推進します。
---------------------	--

活動目標	具体的な取組実績	
第4次総合計画の策定に向け、審議会等において市民意見を踏まえた検討を進めます。	<p>総合計画審議会においては、平成29年4月に基本構想（素案）の一定のとりまとめが行われ、その後、基本計画（素案）の審議が開始されました。現在、基本構想（素案）及び基本計画（素案）の全体とりまとめに向けて審議が進められています。平成29年度は、全体会を5回及び部会を9回、計14回の審議が行われました。</p> <p>市民参画の取組としては、市民ワークショップを2回開催、また、基本構想（素案）・基本計画（素案）に対して、市民意見募集を行うとともに、市民説明会を市内各所で6回開催しました。</p> <p>これらの取組の中で得られた市民意見や市議会の総合計画検討特別委員会からの意見を踏まえ、審議会等での検討が進められました。</p>	
第4次総合計画基本構想（案）及び基本計画（案）を策定し、市議会に提案します。	<p>審議会や総合計画検討特別委員会等の意見を踏まえた検討を進めるに当たり、庁内での調整・検討時間を十分に確保する必要が生じたこと等から、平成29年9月に策定スケジュールを変更し、策定に係る期間を延長しました。その結果、市議会への提案に至りませんでした。</p>	
達成目標	達成状況	達成度
基本構想（案）及び基本計画（案）をとりまとめます。	平成29年度にスケジュール変更を行い、基本構想（案）及び基本計画（案）のとりまとめに向けて検討を進めました。	B 一部達成
第4次総合計画を策定します。	策定に係る検討期間を延長したため、平成29年度中に策定するという目標は達成できませんでした。	C 未達成

総合評価・総括
<p>第4次総合計画の策定に向け、審議会における審議をはじめ、庁内での策定作業や市民参画の取組を行う等、様々な取組を精力的に進め検討を重ねてきました。一方で、より熟度を増した計画とするために検討期間を十分に確保する必要が生じたことから、結果として目標の達成に至りませんでした。今後は、平成30年6月に審議会から答申を受け、パブリックコメントを実施します。その後、庁内手続を経て平成30年8月の市議会定例会へ第4次総合計画（案）として提案する予定としています。</p>

部(局)名	行政経営部
-------	-------

重点課題 4	公共施設最適化の推進
--------	------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	高質で安全なまちづくりに資するため、計画的な利活用や維持管理、長寿命化などの検討を行い、公共施設最適化を推進します。
---------------------	--

活動目標
平成28年度に策定した吹田市公共施設総合管理計画の個別施設計画として、一般建築物を対象とした吹田市公共施設最適化計画【実施編】に基づき、早期に方向性を示す施設を中心に個々の施設の最適化の具体的な検討を進めます。検討にあたっては、吹田市公共施設最適化推進委員会や一般建築物最適化検討作業部会を開催するなど、全庁的な協議・調整を実施します。

具体的な取組実績
個々の施設の最適化の具体的な検討にあたり、関係部局と協議を行うとともに、吹田市公共施設最適化推進委員会を2回、その下部組織である一般建築物最適化検討作業部会を1回開催するなど、全庁的な協議・調整を実施しました。

達成目標
平成32年度末の完成に向け、早期に方向性を示す施設を中心に個々の施設の最適化の具体的な検討を進め、個別の計画を作成します。

達成状況	達成度
一般建築物を対象とした全施設の個別施設計画の完成に向け、全庁的な協議・調整を行い、個別施設計画に盛り込むべき内容等の素案を作成しました。	A
	達成

総合評価・総括
<p>平成28年度に策定した吹田市公共施設総合管理計画の個別施設計画として、一般建築物を対象とした吹田市公共施設最適化計画【実施編】に基づき、早期に方向性を示す施設を中心に個々の施設の最適化の具体的な検討を進めています。</p> <p>今後は、平成30年度から平成32年度までに施設ごとの計画を作成するとともに、平成32年度に全施設の計画をまとめた一般建築物の個別施設計画を策定するため、具体的な検討を進めます。</p>

部(局)名	行政経営部
-------	-------

重点課題 5	学校・園施設整備の推進
--------	-------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	老朽化対策に取り組むことで学校施設の長寿命化等を図り、安心安全で快適な学校・園施設の整備を推進します。
---------------------	---

活動目標
老朽化の進む学校・園施設の長寿命化や機能の維持・向上を図り、校舎・屋内運動場（体育館）の大規模改造工事やトイレリニューアル工事の設計・工事、また、施設修繕、工事等を実施します。

具体的な取組実績
校舎・屋内運動場（体育館）の大規模改造工事やトイレリニューアル工事の設計・工事を行い、その他に、外壁、消防設備改修等の学校・園施設の修繕、工事を行いました。

達成目標
吹田市公共施設最適化の考え方を踏まえ、安心安全で快適な学校施設の計画的な整備を図ります。平成29年度は、小学校8校と中学校4校の校舎、及び小学校3校と中学校2校の屋内運動場（体育館）の大規模改造工事、並びに小学校5校と中学校5校のトイレリニューアル工事について実施設計を行い、小学校8校と中学校4校の校舎、及び小学校3校と中学校2校の屋内運動場（体育館）の大規模改造工事、並びに小学校8校と中学校3校のトイレリニューアル工事を実施します。

達成状況	達成度
校舎・屋内運動場（体育館）の大規模改造工事やトイレリニューアル工事の設計・工事を年次計画どおり実施し、他の工事においても、老朽化対策を施すことにより、施設の長寿命化を図ることができました。 また、学校施設の日常的な修繕については、緊急対応等を行いました。	A
	達成

総合評価・総括
施設の長寿命化を図るための老朽化対策として校舎・屋内運動場（体育館）の大規模改造工事、トイレリニューアル工事を、年次計画に基づき、予定通り実施しました。実施に当たりましては、国の補助金の確保に努め、全ての工事について補助金を活用しています。 今後も計画通りに実施し、施設の長寿命化や機能の維持・向上を図り、安心安全で快適な学校・園施設の整備に努めます。

部(局)名	行政経営部
-------	-------

重点課題 6 第3期情報化推進計画アクションプランの推進

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	「市民サービスの質的向上」「活力あるまちの創造」「安心・安全なまちづくりの推進」「行政経営支援の強化」を計画の柱とし、産学官と市民が絆を強め、活力あるまちづくりにITで貢献することを目標にして、情報化施策に取り組みます。
---------------------	--

活動目標	具体的な取組実績
庁内システム基盤の全体最適化に取り組みます。	介護保険システムなどの6つのシステムを共通基盤システム上に集約しました。
情報セキュリティ管理の仕組みを強化します。	CISO（最高情報セキュリティ責任者）の設置を始めとして、規程の整理など情報セキュリティ管理に関する運用を強化しました。また、マイナンバー関連の5つのシステムについて、外部事業者によるセキュリティ監査を実施しました。指摘事項については担当課に通知し、改善までのフォローアップを行いました。
平成29年度アクションプランの進捗管理を図ります。	各所管課に進捗状況を確認し、その結果に応じて見直しを行い、平成30年度アクションプランを策定しました。

達成目標	達成状況	達成度
業務システム用サーバの統合等を実施し、庁内システムの最適化を進めます。	業務システム用サーバについて、共通基盤システム上への集約を行い、運用の効率化及びセキュリティの向上など庁内システムの最適化を図りました。	A 達成
マイナンバー制度を円滑に実施するための情報セキュリティ管理の強化を図るとともに、外部監査を実施し、庁内システムのセキュリティの強化を進めます。	規程の整理等を行い、情報セキュリティ管理に関する運用を強化しました。また、マイナンバー関連システムについて、外部事業者によるセキュリティ監査を実施しました。	A 達成
アクションプランの実施状況の調査、評価を反映させた平成30年度アクションプランを作成します。	各所管課に進捗状況を確認し、その結果に応じて見直しを行い、平成30年度アクションプランを策定しました。	A 達成

総合評価・総括
第3期情報化推進計画のアクションプランの行程に沿って、基幹系システムの再構築を含め、各施策は概ねスケジュールどおりに進行しています。引続き「市民サービスの質的向上」「活力あるまちの創造」「安心・安全なまちづくりの推進」「行政経営支援の強化」の4つの基本方針に沿った計画の実行に向けて、検討を重ねていきます。